

北海道 150 年事業 事業計画の概要



2018年は北海道命名150年
Hokkaido's 150th Anniversary

北海道 150 年事業実行委員会

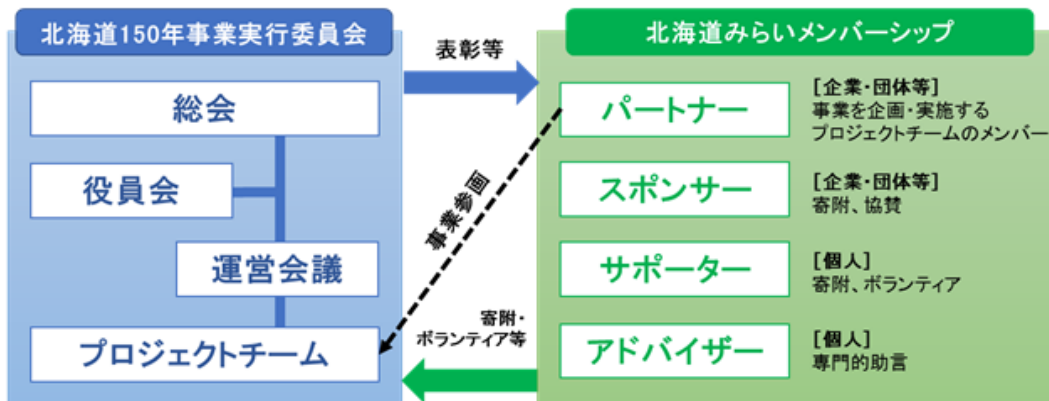
(事務局：北海道総合政策部政策局北海道 150 年事業室)

1 事業の概要

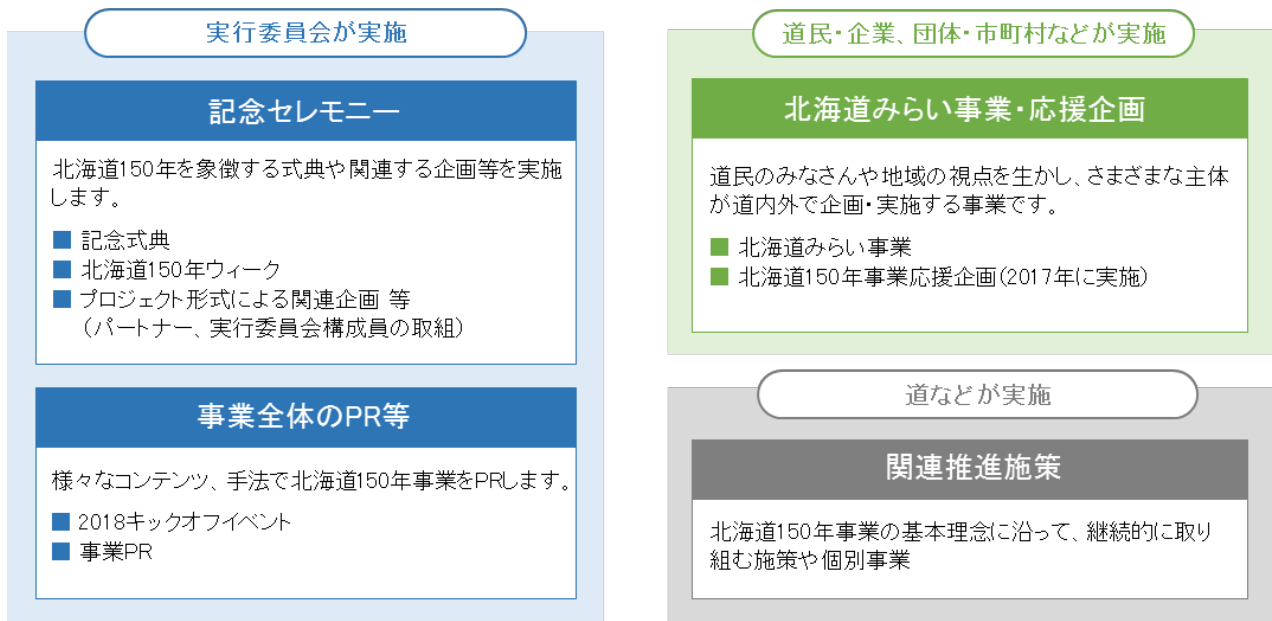
(1) 基本理念

- 歴史や先人の偉業を振り返り、感謝し、節目の年を祝う
- 未来を展望しながら、共生社会を目指して次の時代の北海道づくりに継承
- 北海道の価値を共有し、国内外に発信し、様々な交流を広げる

(2) 事業参画・協力体制



(3) 事業の構成



(4) 実施時期：2018年1～12月（終了が2019年以降となる個別事業を含む）

(5) 展開エリア：道内外

(6) 主なスケジュール

実施主体	項目	2017年	2018年	2019年
実行委員会	記念セレモニー		<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 150年ウィーク 7/14～8/26 ● 記念式典 8/5 ● 姉妹地域ラウンジテーブル 8/4 ● 子ども交流(三重・佐賀) 7月～9月 ● 子ども未来・夢キャンパス ● ほっかいどうサイエンス・フェスティバル 8/6～7 </div>	● 音楽祭 12月
	パートナー事業	PR 4～12月		● 記録誌発行 3月
関連団体等	北海道みらい事業等	応援企画 4～12月		
道	関連推進施策			
実行委員会	事業PR等	● カウントダウンイベント	キックオフイベント 1～3月	
関連団体等			● キックオフ特別イベント 2/5	

2 実施事業

(1) 記念セレモニー

I 記念式典

- 時期：2018年8月5日（日）
- 場所：北海道立総合体育センター「北海きたえーる」
- テーマ：先人に学び未来につなぐ
- 内容（予定）

【メインアリーナ会場】

開 会

第1部：記念式典

式辞、応援メッセージ、各地域との中継、特別表彰、青少年の誓い

第2部：記念プログラム

歴史・文化（映像、アイヌ文化、地域の伝承芸能等）

未来への躍動（北海道へのエール、音楽パフォーマンス等）

第3部：スペシャルライブ

合唱、アーティストのステージ

閉 会

【視聴覚室会場】

北海道の未来トークセッション、映像コンテスト

【サブアリーナ会場・屋外会場】

パートナー・実行委員会構成員による展示、映像ミニシアター、
道産食材等によるグルメフェア 等

【各会場内：パネル展示】

北海道の歴史、市町村のすがた、パートナーの取組、北海道遺産等の紹介

II 北海道150年ウィーク

様々な主体が各種の記念イベント等を実施

- 期 間：7月14日（土）～8月26日（日）
- 場 所：道内外の各地
- 北海道150年ウィークの事業例

テーマ	実施内容（予定）
オープニング	道警音楽隊コンサート、記念ポスト設置、オープニングステージ
①道みんの日・共生社会	北海道みんなの日（7/17）、国際先住民族の日（8/9）等
②食	食の魅力再発見フェア、ジンギスカンイベント、北海道物産展 等
③アート	芸術祭、作品展 等
④北海道文学	松浦武四郎の書籍（現代語訳）出前授業 等
⑤音楽	演奏会、音楽祭 等
⑥歴史、文化、自然	150年記念フォーラム、パネル展、バスツアー 等
⑦スポーツ	カヌーツーリング、サイクリング、カーリング 等
⑧科学みらい	科学実験、キッズワークショップ 等
⑨世界へ☆北海道	子どもたちの交流、友好提携地域ラウンドテーブル 等
⑩北海道150年の夏	花火大会、湖水まつり 等
エンディング	北海道マラソン、エンディングステージ 等

III 子ども未来・夢キャンパス

子どもたちに学ぶ楽しさを伝えるため、大学、短大、高等専門学校等が、北海道150年ウィーク期間等に、科学技術の体験、スポーツなどをテーマとした様々なイベントを開催

IV ほっかいどうサイエンス・フェスティバル

世界的に著名な研究者を招へいし、若者に最先端の科学技術などを伝える

V 北海道姉妹友好提携地域ラウンドテーブル2018

本道と姉妹友好提携を結んでいる海外の地域の代表を招へいし、円卓会議を実施

VI 子どもたちの交流事業

北海道の歴史にゆかりのある地域で子どもたちが交流（三重県松阪市、佐賀県）

VII 北海道 150 年音楽祭

北海道 150 年を締めくくる、若い世代の方々などによる音楽ステージを開催

VIII 記録誌・記録映像の作成

北海道 150 年事業の取組内容を記録し、次の世代へ継承

IX 関連企画

パートナー及び実行委員会構成員が、企画力やノウハウを生かした取組を実施

●パートナー（165 企業・団体）の取組

2018 年新生児への記念球プレゼント、道庁赤れんが庁舎プロジェクションマッピング、自社主催イベント・商品等での PR、フォーラムの開催、記念フェアの実施、記念商品の発売、松浦武四郎関連ツアー（道内・三重県松阪市等）の実施、記念テレビ・ラジオ番組の放送 等

●実行委員会構成員の取組

北海道遺産の第 3 回選定、北海道版道徳教材の作成・配布、体育の日記念事業、記念ポストの設置、特殊切手の発行・販売、アイヌ民族文化祭 等

(2) 北海道みらい事業

全道各地等で様々な主体（道民、団体、企業、市町村、国、道（振興局）等）が実施（678 事業）

テーマ	①食	②アート	③音楽	④歴史・文化・自然	⑤スポーツ	⑥科学	⑦産業・経済・観光	⑧子ども・未来	⑨その他
件数	73 件	47 件	60 件	173 件	41 件	12 件	158 件	77 件	37 件

●北海道みらい事業の概要

① 食	記念菓子の製造・販売、北海道米をテーマとするイベント 等
② アート	絵画展、ファッションショー、フラワーカーペット 等
③ 音楽	150 年記念コンサート、オーケストラフェスティバル 等
④ 歴史・文化・自然	松浦武四郎関連講演会、お祭り写真展、生物多様性パネル展 等
⑤ スポーツ	クラシクトレイル、サイクリング、クロスカントリー、熱気球 等
⑥ 科学	宇宙交流センターオープン記念イベント、サイエンスパーク 等
⑦ 産業・経済・観光	北海道物産展、商談会、北海道を巡るクルーズ 等
⑧ 子ども	作文コンクール、ホームステイプログラム、地域の職業体験 等
⑨ その他	北海道 150 年 PR 広告コンテスト 等

(3) 2018 キックオフイベント

2018年1月～2月に、既存イベントの活用等によりステージイベント等を実施

- 札幌モーターショー（1/19～21 札幌ドーム）
- さっぽろ雪まつり（2/5～12 大通公園）
- キタデミー賞（2/5 ニトリ文化ホール）
- 武四郎まつり（2/25 松浦武四郎記念館（三重県松阪市））
- PR イベント（1～2月 苫小牧市・北斗市・帯広市・釧路市・北見市・旭川市）

(4) 事業PR

- プロモーション：事業PR・実績紹介等の実施
- PR 資材等：ポスター、パンフレット等のPR 資材の作成、メディアの活用
- 公式ガイドブック（2017年12月、2018年4月、7月発行）
- 公式ウェブサイト：イベント情報等発信、SNS（Facebook、Youtube）等による動画配信

(5) 関連推進施策

北海道150年の基本理念に沿って道等が継続的に取り組む施策や個別事業

例) 新たな北海道史の編さん、赤れんが庁舎の保存・修復 等

(2018年度 22事業 1,211,511千円)

(6) 北海道150年事業応援企画（2017年に実施）

北海道150年事業のPRを目的とする取組(90事業)

例) 松浦武四郎パネル展・講演会、北海道スマホスタンプラリーでの「北海道命名150年賞」の設定、鉄道歴史パネル展の開催 等

3 北海道みらいメンバーシップ

(1) パートナー

自らが持つ企画力やノウハウを発揮し、自らの負担のもとで事業を企画・実施していただく企業・団体（165企業・団体）

(2) スポンサー

寄附・協賛をいただく企業・団体（3月30日現在 77企業・団体）

(3) サポーター

①寄附をいただく個人（3月30日現在 10名）

②ボランティア

記念式典など様々なイベントの運営等に参加いただける方を2018年4月頃から募集

(4) アドバイザー

- 小磯修二氏（(一社) 地域研究工房代表理事）：開拓・開発の歴史
- 東村有三氏（(株) KITABA 顧問）：実行委員会主催イベントの企画・演出
- 本田優子氏（札幌大学教授）：アイヌ文化

4 予算

■2018 年度予算

- 258,049 千円
（記念セレモニー 228,845 千円、事業 PR 19,198 千円、
記録誌等作成 8,816 千円、予備費 1,190 千円）
- パートナー、実行委員会構成員は、それぞれ必要な予算を確保

<寄附金の受入状況>

- 寄附受入額：25,941 千円（3月30日現在）
2018年12月まで募集

5 計画の推進

- 記念式典などの取組ごとにプロジェクトチームをつくり、パートナーをはじめとする民間企業・団体等の支援・協力を得ながら推進
- 実行委員会の事業を円滑に進めるため、運営会議、役員会を開催